

06-224938

Aug. 12, 1994

L6: 2 of 4

ELECTRONIC MAIL CONTROL METHOD

INVENTOR: MASAHIRO MATSUDA, et al. (2)

ASSIGNEE: FUJITSU LTD, et al. (30)

APPL NO: 05-11233

DATE FILED: Jan. 27, 1993

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

ABS GRP NO: E1629

ABS VOL NO: Vol. 18, No. 593

ABS PUB DATE: Nov. 11, 1994

INT-CL: H04L 12/54; H04L 12/58; H04L 9/00; H04L 9/10; H04L 9/12

ABSTRACT:

PURPOSE: To attain the service established (such as personal advice and tax consultation) by remaining a sender anonymous by setting information used to control sender anonymity to a prescribed area of an electronic mail control information field.

CONSTITUTION: An electronic mail system is built up by an electronic mail center 1 comprising a CPU 10, a storage device 11, and a line I/F 12 and by a terminal equipment 2. Then a sender terminal equipment 2 is able to set a command as to whether or not information (2) used to control sender anonymity is given to a prescribed area of a header (1) a of an electronic mail (1). When other terminal equipment 2 reads an arrived electronic mail from a mail box 110 of the electronic mail center 1, the center 1 checks a prescribed area of the header (1) a of the electronic mail (1). When the information (2) for sender anonymity is commanded, the center controls it that sender information (3) is not given to the destination terminal equipment 2.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-224938

(43)公開日 平成6年(1994)8月12日

(51)Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 0 4 L 12/54

12/58

9/00

8732-5K

7117-5K

H 0 4 L 11/ 20

9/ 00

1 0 1 B

Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願平5-11233

(22)出願日 平成5年(1993)1月27日

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

(72)発明者 松田 正宏

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 福山 訓行

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

(72)発明者 村上 雅彦

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

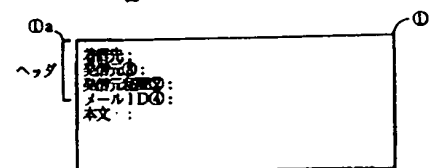
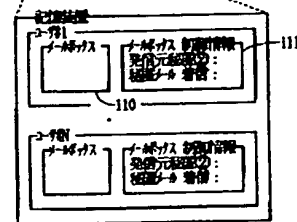
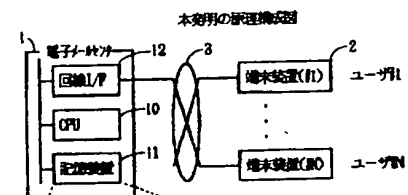
(74)代理人 弁理士 井桁 貞一

(54)【発明の名称】 電子メール制御方法

(57)【要約】

【目的】 本発明は、CPU、記憶装置、回線インタフェース(I/F)から構成される電子メールセンタと端末からなる電子メールシステムにおいて、発信元を秘匿したい電子メールの制御方法に関し、発信元を明らかにしないことにより成立するサービス(人生相談、税金相談等)を提供する。

【構成】 電子メールのヘッダ、もしくは、電子メールセンタのメールボックス制御情報フィールドの所定の領域に、発信元秘匿を制御する情報②を設定し、着信者に対して、発信元③の通知の許可、不許可の制御を行う。又、電子メールシステムのセンタ側で、メールID④と発信元情報③の組合わせを記憶しておき、上記発信元秘匿メールの受信者は、上記メールID④を指定して、発信元③を認識することなく、発信元秘匿メールに対する返信を行う。又、上記発信元秘匿メールであって、着信者が着信不許可の情報⑤を登録している場合には、メールボックスにライトすることなく、発信元に、配信不可であることを通知する。



(b)

【特許請求の範囲】

【請求項1】中央処理装置(10)と、記憶装置(11)と、回線インタフェース(I/F)(12)から構成される電子メールセンタ(1)と端末装置(2)とからなる電子メールシステムにおいて、

発信元の端末装置(2)は、電子メール(①)のヘッダ(①a)の所定の領域に、発信元秘匿を制御する情報(②)を指示するか否かの設定を行い、

他の端末装置(2)が上記電子メールセンタ(1)のメールボックス(110)から着信している電子メール(①)を読み出すとき、上記電子メール(①)のヘッダ(①a)の所定の領域を検査して、発信元秘匿の情報(②)が指示されているとき、発信元情報(③)を着信先の端末装置(2)に渡さないように制御することを特徴とする電子メール制御方法。

【請求項2】中央処理装置(10)と、記憶装置(11)と、回線インタフェース(I/F)(12)から構成される電子メールセンタ(1)と端末装置(2)とからなる電子メールシステムにおいて、

発信元の端末装置(2)は、電子メールセンタ(1)のメールボックス(110)のメールボックス制御情報フィールド(111)の所定の領域に、発信元の読み出しの許可、不許可を指示するか否かの情報(②)を登録しておき、他の端末装置(2)が上記電子メールセンタ(1)のメールボックス(110)から着信している電子メール(①)を読み出すとき、上記メールボックス制御情報フィールド(111)の所定の領域を検査し、発信元の読み出しの不許可のとき、発信元情報(③)を着信先の端末装置(2)に渡さないように制御することを特徴とする電子メール制御方法。

【請求項3】中央処理装置(10)と、記憶装置(11)と、回線インタフェース(I/F)(12)から構成される電子メールセンタ(1)と端末装置(2)とからなる電子メールシステムにおいて、

電子メールセンタ(1)では、送信を依頼された電子メール(①)の着信先フィールドを見て、着信先のメールボックス(110)に、上記電子メール(①)をライトするとき、発信元フィールドの内容と共に、個々の電子メール(①)を特定するメールID(④)を設定してライトし、

他の端末装置(2)が上記電子メールセンタ(1)のメールボックス(110)から着信している電子メール(①)を読み出すとき、上記電子メール(①)が、発信元秘匿のものであったとき、上記メールID(④)を送信しておき、

該発信元を秘匿した電子メール(①)を受信した端末装置(2)は、どの電子メール(①)に対する返信かを、上記受信した電子メール(①)の上記電子メールID(④)を指示して返信し、

上記電子メールセンタ(1)では、上記電子メールID

(④)を基に、上記他の端末装置(2)のメールボックス(110)に保持されている電子メールID(④)の発信元を、該返信メール(①')の着信先とするように制御することを特徴とする電子メール制御方法。

【請求項4】中央処理装置(10)と、記憶装置(11)と、回線インタフェース(I/F)(12)から構成される電子メールセンタ(1)と端末装置(2)とからなる電子メールシステムにおいて、

着信先の端末装置(2)は、電子メールセンタ(1)のメールボックス(110)のメールボックス制御情報フィールド(111)の所定の領域に、発信元秘匿メールの着信の許可、不許可を指示するか否かの情報(⑤)の登録をして

おき、他の端末装置(2)から発信元秘匿の電子メール(①)が送信されてきたとき、上記発信元秘匿の電子メール(①)の着信の不許可の指示情報(⑤)が登録されていると、電子メールセンタ(1)では、着信先のメールボックス(110)にライトすることなく、発信元に、着信不許可を通知するように制御することを特徴とする電子メール制御方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、中央処理装置(CPU)、記憶装置、回線インタフェース(I/F)から構成される電子メールセンタと端末装置からなる電子メールシステムにおいて、発信元を秘匿したい電子メールの制御方法に関する。

【0002】現在、電話を用いた電話相談等のサービスが行われている。このような電話相談サービスの中には、発信者が秘匿されていることでサービスが成立しているものも少なくない。

【0003】例えば、税金に関する相談とか、人生相談等は、発信者が分からないということで成立している。然して、最近のパソコン、ワードプロセッサ等の普及に伴い、電子メールセンタの電子メールボックスを介した、双方向の電子メールシステムの利用が盛んになっている。

【0004】従来の電子メールシステムでは、受信者に対して、発信者を秘匿することができないので、前述のような発信者が秘匿されることを前提にしたサービスができないという問題がある。

【0005】又、相談等のサービスでは、相談者からの問い合わせに対して回答をする必要があるが、回答を行う場合も、解答者があくまでも相談者を知らないで行える必要がある。

【0006】電子メールシステムのように、双方向に、電子メールを送受信して会話を行うシステムにおいては、発信元を着信先に対して明らかにしないことによって成立するサービス、例えば、上記の如き、人生相談サービス、税金相談サービス等を生かすことにより、電子

メールシステムの多様化が可能になる。

【0007】この場合、着信先の各ユーザのプログラムの操作によっても、簡単に認識されることのない、信頼性の高い発信元秘匿サービスを提供することが必要とされる。

【0008】

【従来の技術】図7、図8は、従来の電子メールシステムを説明する図であり、図7(a)は、電子メールシステムの構成例を示し、図7(b)は、従来のメールボックスの構成例を示し、図7(c)は、従来の電子メールのフォーマットを示しており、図8は、従来の電子メールの送受信のシーケンスの例を示している。

【0009】電子メールシステムは、図7(a)に示したように、中央処理装置(CPU)10と、記憶装置11と、回線インタフェース(I/F)12とからなる電子メールセンタ1と、複数の端末装置2とが、通信ネットワーク3を介して接続されている。

【0010】電子メールセンタ1の記憶装置11には、図7(b)に示したように、各端末装置(ユーザ#1~#N)2に対応したメールボックス110を備えており、ある端末装置(ユーザ#1)2から他の端末装置(ユーザ#2)2への電子メール①を送信するとき、図7(c)に示したフォーマットで、例えば、着信先と、発信元と、メール本文とを送信する。

【0011】該電子メール①を受信した電子メールセンタ1では、図8に示した送信シーケンスに基づいて、まず、電子メール①が指示している着信先(ユーザ#2)のメールボックス110に、上記受信した電子メール①をライトする。

【0012】ユーザ#2の端末装置2で、自己のメールボックス110に着信している電子メール①を読み出すとき、上記ユーザ#2のメールボックス110にライトされている電子メール①を、その儘、つまり、発信元であるユーザ#1を示す情報と共に、読み出し、受信する。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】即ち、従来の電子メール制御方法では、電子メール①の発信元が、着信先にその儘通知されてしまうという問題があった。

【0014】従って、発信元が明らかにされないことで成り立つサービス、例えば、前述の人生相談とか、税金対策相談といったサービスがユーザに提供することができないという問題があった。

【0015】本発明は上記従来の欠点に鑑み、中央処理装置(CPU)、記憶装置、回線インタフェース(I/F)から構成される電子メールセンタと端末装置からなる電子メールシステムにおいて、発信元を明らかにしないことにより成立するサービス(人生相談、税金相談等)を提供することができる電子メール制御方法を提供することを目的とするものである。

【0016】

【課題を解決するための手段】図1は、本発明の原理構成図であり、図1(a)は、電子メールセンタでの本発明のメールボックスの構成例を示し、図1(b)は、本発明の電子メール①のフォーマットの例を示している。上記の問題点は下記の如くに構成した電子メール制御方法によって解決される。

【0017】(1) 中央処理装置10と、記憶装置11と、回線インタフェース(I/F)12から構成される電子メールセンタ1と端末装置2とからなる電子メールシステムにおいて、発信元の端末装置2は、電子メール①のヘッダ①aの所定の領域に、発信元秘匿を制御する情報②を指示するか否かの設定を行い、他の端末装置2が上記電子メールセンタ1のメールボックス110から着信している電子メール①を読み出すとき、上記電子メール①のヘッダ①aの所定の領域を検査して、発信元秘匿の情報②が指示されているとき、発信元情報③を着信先の端末装置2に渡さないように制御する。

【0018】(2) 中央処理装置10と、記憶装置11と、回線インタフェース(I/F)12から構成される電子メールセンタ1と端末装置2とからなる電子メールシステムにおいて、発信元の端末装置2は、電子メールセンタ1のメールボックス110のメールボックス制御情報フィールド111の所定の領域に、発信元の読み出しの許可、不許可を指示するか否かの情報②を登録をしておき、他の端末装置2が上記電子メールセンタ1のメールボックス110から着信している電子メール①を読み出すとき、上記メールボックス制御情報フィールド111の所定の領域を検査し、発信元の読み出しの不許可のとき、発信元情報③を着信先の端末装置2に渡さないように制御する。

【0019】(3) 中央処理装置10と、記憶装置11と、回線インタフェース(I/F)12から構成される電子メールセンタ1と端末装置2とからなる電子メールシステムにおいて、電子メールセンタ1では、送信を依頼された電子メール①の着信先フィールドを見て、着信先のメールボックス110に、上記電子メール①をライトするとき、発信元フィールドの内容と共に、個々の電子メール①を特定するメールID④を設定してライトし、他の端末装置2が上記電子メールセンタ1のメールボックス110から着信している電子メール①を読み出すとき、上記電子メール①が、発信元秘匿のものであったとき、上記メールID④を送信しておき、該発信元を秘匿した電子メール①を受信した端末装置2は、どの電子メール①に対する返信かを、上記受信した電子メール①の上記電子メールID④を指示して返信し、上記電子メールセンタ1では、上記電子メールID④を基に、上記他の端末装置2のメールボックス110に保持されている電子メールID④の発信元を、該返信メール①'の着信先とするように制御する。

【0020】(4) 中央処理装置10と、記憶装置11

と、回線インタフェース(I/F) 12から構成される電子メールセンタ 1と端末装置 2とからなる電子メールシステムにおいて、着信先の端末装置 2は、電子メールセンタ 1のメールボックス 110のメールボックス制御情報フィールド 111の所定の領域に、発信元秘匿メールの着信の許可、不許可を指示するか否かの情報⑤の登録をしておき、他の端末装置 2からの発信元秘匿の電子メール①が送信されてきたとき、上記発信元秘匿メールの着信の不許可の指示情報⑤が登録されていると、電子メールセンタ 1では、着信先のメールボックス 110にライトすることなく、発信元に、着信不許可を通知するように制御する。

【0021】

【作用】即ち、本発明においては、電子メール①のヘッダ①a、もしくは、電子メールセンタに備えられている各ユーザの端末装置毎に設けられているメールボックスに、電子メールボックス制御情報フィールドに、発信元秘匿を指示する情報②を設定、或いは、予め、登録しておくことにより、着信者が自己の電子メールボックスから電子メール①を読み出すとき、電子メールセンタの所定のソフトウェアが、上記電子メールボックス制御情報フィールドを検査して、発信元秘匿を指示する情報②を認識したとき、着信先に対して、発信元の情報③を通知しない制御を行うようにする。

【0022】又、電子メールセンタ側で、各電子メールに一意な電子メールID④と、発信元の情報③とを組み合わせ記憶しておき、着信先が、自己の電子メールボックスから着信している電子メール①を読み出すとき、上記電子メールID④も読み出して受信しておき、発信者秘匿電子メール①の受信者は、該電子メールID④を指定して返信の電子メール①を送信することにより、電子メールセンタにおいて、上記記憶されている電子メール①に一意な電子メールID④と、発信元の情報③との組み合わせから発信元③を認識して、該返信メールを発信元③に送信することができ、着信者は、発信者③を知らないままに発信者秘匿メールの返信が可能になる。

【0023】又、上記電子メールセンタのメールボックスのメールボックス制御情報フィールドに、発信元秘匿メールに対して着信を拒否する情報⑤を登録しておくことにより、発信者秘匿メールが、むやみに、着信者に送達されるのを抑止することができる。

【0024】

【実施例】以下本発明の実施例を図面によって詳述する。前述の図1は、本発明の原理構成図であり、図2～図6が、本発明の一実施例を示した図であり、図2は、電子メール①中に、発信元秘匿情報②を設定した例を示し、図3は、電子メールセンタの各ユーザ毎のメールボックス制御情報フィールドに、発信元秘匿情報②を登録した例を示し、図4、図5は、発信元に各電子メール①に一意な電子メールID④を追加し、発信元秘匿の電子

メール①に対して、電子メールID④で返信する例を示し、図6は、発信元秘匿の電子メール①に対して、着信を不許可にする例を示している。

【0025】本発明においては、中央処理装置(CPU) 10、記憶装置 11、回線インタフェース(I/F) 12から構成される電子メールセンタ 1と端末装置 2とからなる電子メールシステムにおいて、電子メール①のヘッダ①a、もしくは、電子メールセンタ 1のメールボックス制御情報フィールドの所定の領域に、発信元秘匿を制御する情報②を設定し、着信者に対して、発信元の通知の許可、不許可の制御を行う手段、又、電子メールシステムのセンタ 1側で、電子メールID④と発信元情報③の組み合わせを記憶しておき、上記発信者秘匿メールの受信者は、上記電子メールID④を指定して、発信元を認識することなく、発信者秘匿メールに対する返信を行う手段、又、上記発信者秘匿メールであって、着信者が着信の不許可を指示する情報⑤を登録している場合には、受信先の電子メールボックス 110にライトすることなく、発信元に、配信不可であることを通知する手段が、本発明を実施するのに必要な手段である。尚、全図を通して同じ符号は同じ対象物を示している。

【0026】以下、図1(a)の電子メールシステムの構成例を参照しながら、図2～図6によって、本発明の電子メール制御方法を説明する。まず、図1(a)に示されているように、電子メールシステムは、例えば、ユーザ#1,2の電子メールボックス 110が格納されている記憶装置 11と、中央処理装置(CPU) 10と、回線インタフェース(I/F) 12とから構成されている電子メールセンタ 1と、ユーザ#1, #2, ~が、上記電子メールセンタ 1にアクセスする為の端末装置(#1, #2, ~) 2、及び、通信ネットワーク 3とから構成されている。

【0027】本実施例においては、ユーザ#1が端末装置(#1) 2を介して、電子メールセンタ1にアクセスし、ユーザ#2に電子メール①を送信する。又、ユーザ#2は、端末装置(#2) 2を介して、電子メールセンタ 1にアクセスし、ユーザ#1が送信した電子メール①を受信する例について説明する。

【0028】(1) 電子メール①中に、発信元秘匿を制御する情報②を設定する場合：ユーザ#1は、端末装置(#1) 2において、着信先フィールド (ユーザ#2)、発信元秘匿を制御する情報②と、本文とからなる電子メール①(図2(a)参照)を作成し、通信ネットワーク 3を介して、電子メールセンタ 1に送信を依頼する。

【0029】電子メールセンタ 1は、送信を依頼された電子メール①の着信先フィールドを見て、ユーザ#2の電子メールボックス 110に、発信元フィールドの発信元情報③を図2(b)に示したように追加してライトする。

{図2(d)のシーケンス参照}

ユーザ#2は、電子メールセンタ 1に、自分の電子メールボックス 110にある電子メール①の受信要求をする。

【0030】電子メールセンタ 1は、ユーザ#2の電子メールボックス 110中にあるユーザ#1から送信されてきている電子メール①を、端末装置(#2) 2に渡すとき、電子メール①の発信元秘匿フィールドを検査する。

【0031】そして、上記発信元秘匿フィールドに、上記発信元秘匿を制御する情報②が設定されていると、発信元フィールドの内容(即ち、ユーザ#1の名称)を除いて、端末装置(#2) 2に渡す。(図2(d)のシーケンス参照)

端末装置(#2) 2は、図2(c)に示した発信元情報が除かれた電子メール①を受信しているので、ユーザ#2に対して、発信元を表示することができない。このようにして、発信元秘匿の制御を行うことができる。

【0032】上記、電子メールセンタ 1での、全ての処理は、上記電子メールセンタ 1の中央処理装置(CPU) 10が実行するソフトウェアによって実現される。

(2) 電子メールセンタの記憶装置内に、各ユーザに対応して設けられている電子メールボックス制御フィールドに、発信元秘匿を制御する情報②が登録されている場合：予め、電子メールセンタ 1の管理者は、例えば、ユーザ#1からの登録要求に基づいて、各ユーザ(例えば、本実施例では、ユーザ#2)の電子メールボックス制御情報フィールド 111の所定の領域に、図3(d)に示されているように、発信元秘匿を制御する情報②として「秘匿」指示を登録しておく。

【0033】ユーザ#1は、端末装置(#1) 2において、着信先フィールド(ユーザ#2)と、本文とからなる電子メール①(図3(a)参照)を作成し、通信ネットワーク 3を介して、電子メールセンタ 1に送信を依頼する。

【0034】電子メールセンタ 1は、送信を依頼された電子メール①の着信先フィールドを見て、ユーザ#2の電子メールボックス 110に、発信元フィールドの発信元情報③を図3(b)に示したように追加してライトする。

(図3(d)のシーケンス参照)

ユーザ#2は、電子メールセンタ 1に、自分の電子メールボックス 110中にある電子メール①の受信要求をする。

【0035】電子メールセンタ 1は、ユーザ#2の電子メールボックス 110中にあるユーザ#1から送信されてきている電子メール①を、端末装置(#2) 2に渡すとき、上記記憶装置 11内の電子メールボックス制御情報フィールド 111を見て、ユーザ#1の発信元秘匿フィールドを検査する。

【0036】そして、上記発信元秘匿フィールドに、上記発信元秘匿を制御する情報②が登録されていると、発信元フィールドの内容(即ち、ユーザ#1の名称)を除いて、端末装置(#2) 2に渡す。(図3(d)のシーケンス参照)

端末装置(#2) 2は、図3(c)に示した発信元情報が除かれた電子メール①を受信しているので、ユーザ#2に対して、発信元を表示することができない。このようにし

て、発信元秘匿の制御を行うことができる。

【0037】(3) 電子メール①の発信元情報③に、各電子メール①に一意な電子メールID④を追加し、発信元秘匿の電子メール①に対して、電子メールID④で返信する場合：予め、電子メールセンタ 1の管理者は、例えば、ユーザ#1からの登録要求に基づいて、各ユーザ(例えば、本実施例では、ユーザ#2)の電子メールボックス制御情報フィールドの所定の領域に、図5(c)に示されているように、発信元秘匿を制御する情報②として「秘匿」指示を登録しておく。

【0038】ユーザ#1は、端末装置(#1) 2において、着信先フィールド(ユーザ#2)と、本文とからなる電子メール①(図4(a)参照)を作成し、通信ネットワーク 3を介して、電子メールセンタ 1に送信を依頼する。

【0039】電子メールセンタ 1は、送信を依頼された電子メール①の着信先フィールドを見て、ユーザ#2の電子メールボックス 110に、発信元フィールド(ユーザ#1)と、電子メールセンタ 1が管理している電子メール①に一意な電子メールID④(001)を、図4(b)に示したように追加してライトする。(図5(c)のシーケンス参照)

ユーザ#2は、電子メールセンタ 1に、自分の電子メールボックス 110中にある電子メール①の受信要求をする。

【0040】電子メールセンタ 1は、ユーザ#2の電子メールボックス 110中にあるユーザ#1から送信されてきている電子メール①を、端末装置(#2) 2に渡すとき、上記記憶装置 11内の電子メールボックス制御情報フィールド 111を見て、ユーザ#1の発信元秘匿フィールドを検査する。

【0041】そして、上記発信元秘匿フィールドに、上記発信元秘匿を制御する情報②が登録されていると、発信元フィールドの内容(即ち、ユーザ#1の名称)を除いて、且つ、上記電子メールID④を付加して、端末装置(#2) 2に渡す。(図5(c)のシーケンス参照)

端末装置(#2) 2は、図4(c)に示した発信元情報が除かれた電子メール①を受信しているので、ユーザ#2に対して、発信元を表示することができない。

【0042】ユーザ#2が、図4(c)に示した発信元情報③が除かれた電子メール①に対する返信を行う場合、どの電子メール①に対する返信であるかを明示するために、図5(a)に示した返信メール①'の電子メールIDフィールドに、上記受信した発信元秘匿の電子メール①に追加されている上記電子メールID「001」④をセットし、電子メールセンタ 1に返信を依頼する。

【0043】電子メールセンタ 1では、上記返信メール①'の電子メールID④を基に、ユーザ#2の電子メールボックス 110内に保持されている、上記電子メールID=001④の電子メールの発信元を、上記返信メール①'の着信先とする。

【0044】この場合、電子メールID=001④の電

子メール①の発信元は、ユーザ#1であるので、上記返信メール①'の着信先は、ユーザ#1となり、上記返信メール①'は、ユーザ#1の電子メールボックス 110に着信先、発信元、電子メールID④(002)、返信メールID④(001)を加えた上ライトされる。(図5(c)のシーケンス参照)

(4) 発信元秘匿の電子メール①を、着信先で受信を拒否する場合：まず、予め、各ユーザは、電子メールセンタ 1に依頼して、発信元秘匿の電子メール①に対する着信の不許可を指示する情報⑤を、電子メールボックス制御

情報として登録しておく。
【0045】ユーザ#1は、端末装置(#1) 2において、着信先フィールド(ユーザ#2)、発信元秘匿を制御する情報②と、本文とからなる電子メール①(図6(a)参照)を作成し、通信ネットワーク 3を介して、電子メールセンタ 1に送信を依頼する。

【0046】電子メールセンタ 1は、送信を依頼された電子メール①の着信先フィールドを見て、ユーザ#2の電子メールボックス 110に、発信元フィールドの発信元情報③を、図2(b)に示したように追加してライトする。(図6(c)のシーケンス参照)

電子メールセンタ 1では、電子メールボックス 110に上記電子メール①をライトするとき、上記電子メールボックス制御情報フィールドの秘匿メールの着信制御フィールドを検査する。

【0047】発信元を秘匿した電子メール①の着信を不許可する情報⑤が指示されている場合で、今ライトしようとしている電子メール①の発信元秘匿フィールドが秘匿②を指示している場合には、上記電子メール①をユーザ#2の電子メールボックス 110にライトしないで、ユーザ#1に対して、配信が不可であることを通知する。(図6(c)参照)

このようにして、発信元秘匿の電子メール①を、ユーザ側において受信を拒否することができるようになる。

【0048】本発明による電子メール制御方法は、電子メールシーケンスの電子メールセンタ側において、制御

する形態をとっているので、ユーザ側での故意なプログラムの操作により、発信元が着信先に知られてしまうといったことがなくなり、信頼性の高い発信者秘匿の制御を行うことができる。

【0049】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明の電子メール制御方法によれば、発信者を秘匿したままで、電子メール①のやりとりが行えるので、税金の相談等の発信者が受信者に分からないことを前提としたサービスを、ユーザの故意なプログラムの操作に邪魔されることなく実現することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の原理構成図

【図2】本発明の一実施例を示した図(その1)

【図3】本発明の一実施例を示した図(その2)

【図4】本発明の一実施例を示した図(その3)

【図5】本発明の一実施例を示した図(その4)

【図6】本発明の一実施例を示した図(その5)

【図7】従来の電子メール制御方法を説明する図(その1)

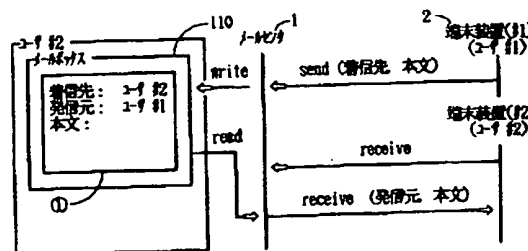
【図8】従来の電子メール制御方法を説明する図(その2)

【符号の説明】

1	電子メールセンタ	10	中央処理装置(CPU)
11	記憶装置	12	回線インタフェース(I/F)
110	電子メールボックス制御情報フィールド		
2	端末装置(#1, #2, ...)		
3	通信ネットワーク		
①	電子メール	②	発信元秘匿を制御する情報
③	発信元情報、発信元		
④	電子メールID、メールID		
⑤	着信を拒否する情報		

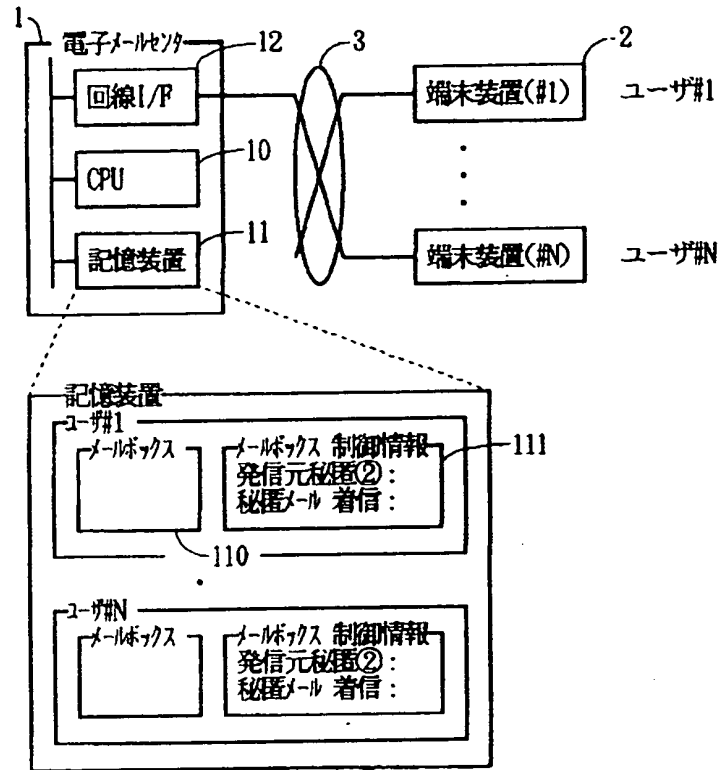
【図8】

従来の電子メール制御方法を説明する図(その2)

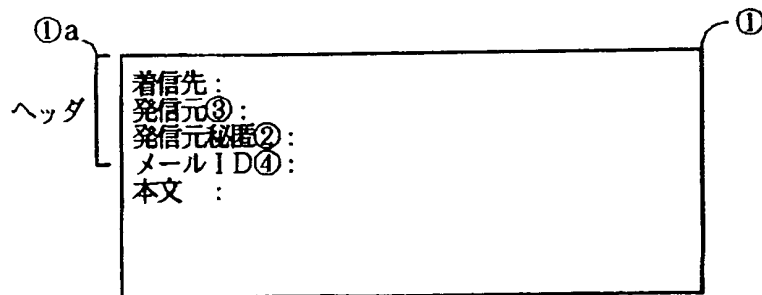


【図1】

本発明の原理構成図



(a)

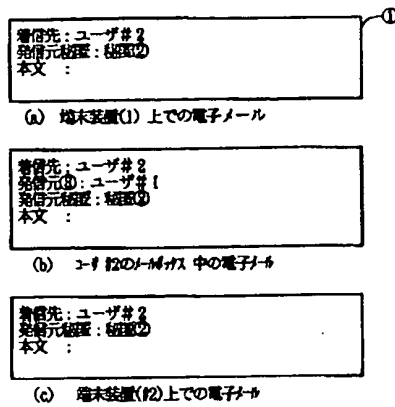


(b)

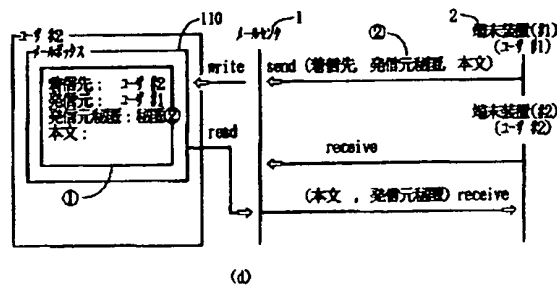
【例2】

【図3】

本発明の一実施例を示した図（その１）

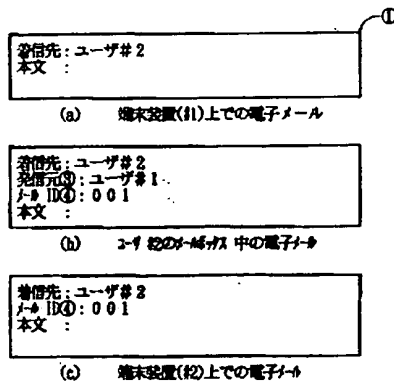


(c) 端末装置(12)上での電子メール



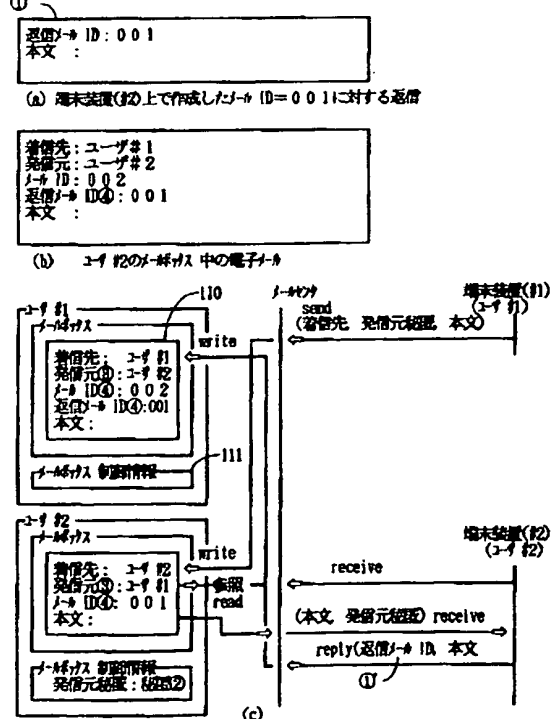
【図4】

本発明の一実施例を示した図（その３）



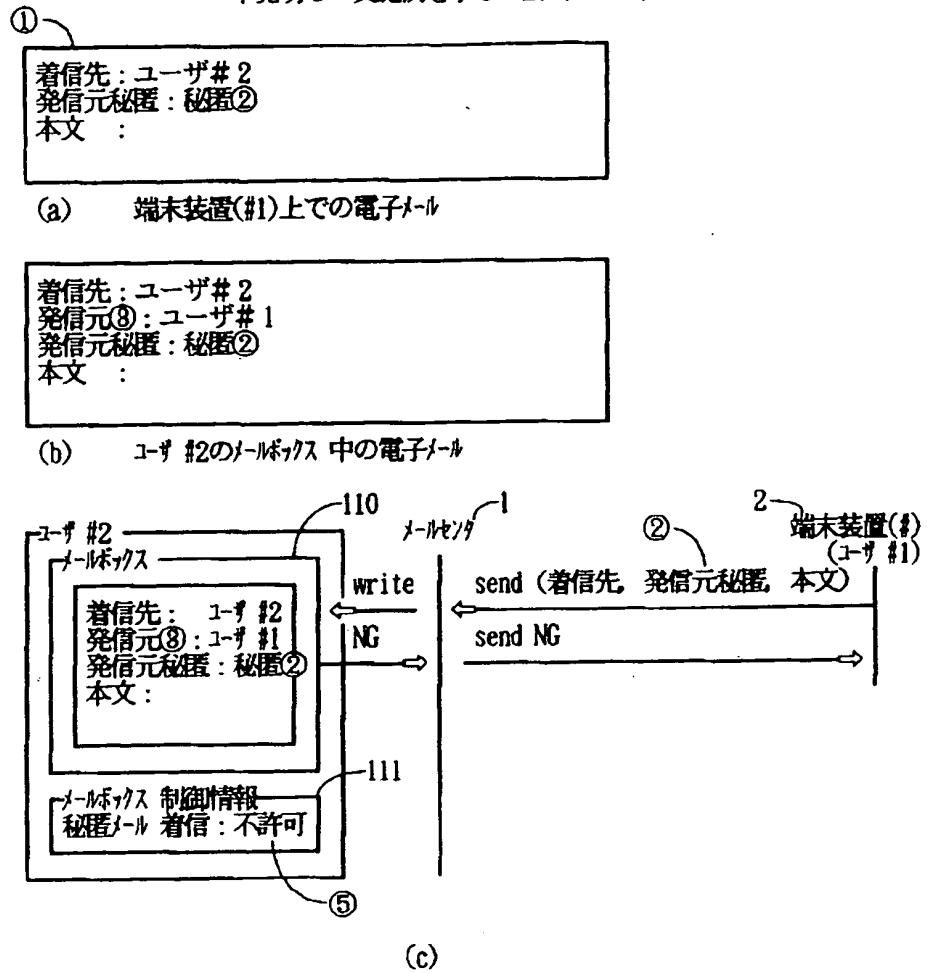
【図5】

本発明の一実施例を示した図（その４）



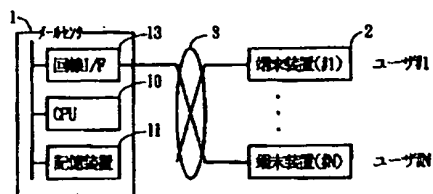
【図6】

本発明の一実施例を示した図（その5）

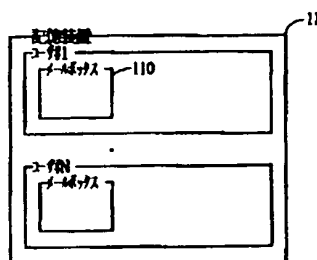


【図7】

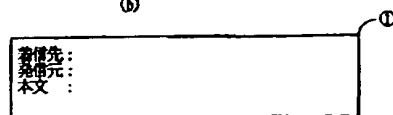
従来の電子メール転送方法を利用する図(その1)



(a)



(b)



(c)

フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁵

H04L 9/10

9/12

識別記号

片内整理番号

F I

技術表示箇所

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.